仕事の現場ウォッチング

興味のあるシゴトはあるけれど、その実態がよくわからない。
やりがいや本音、現場の空気がもっと知りたい！そんな思いに応えてさまざまなシゴトをリポート！
ヒントはいつも現場にありました！

●今月のシゴト・ターゲット「販売のシゴト（インテリアショップスタッフ）」

ホームファニシングストア　マックスプラス古島店　1階雑貨・インテリアグリーン担当　仲里 裕貴さん（25歳）

インテリアショップスタッフのシゴトとは

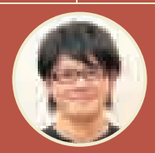
流行をアレンジして提案する「住空間の仕掛け人」。豊富な知識と多角的な視点が求められるシゴト。

一見華やかに見えますが、意外と裏方作業が多い仕事です。商品の発注や入荷商品の検品、荷物の移動他、チラシ広告の内容や季節のモチベーションに合わせたPOP制作、店内ディスプレイの変更など、作業の種類もいろいろあります。インテリアコーディネーターやカラーコーディネーターなどの資格を持っていると、ディスプレイの際に活用できますが、現場では資格よりもむしろやる気や情熱、柔軟性や提案力が重視されます。社会の動向や流行を敏感且つ迅速にキャッチし、豊富な商品知識とユニークな発想力で「住空間を仕掛ける」ことが大きなテーマです。そのため、商品知識やあらゆる情報を常に持ち合わせていなければなりません。

Q この仕事に就いたきっかけは？

A これまでと全く違うことがしたくて、好きなインテリアの分野を志すことにしました。部屋の模様替えや簡単なDIYは経験済みでしたが、仕事としては全くの初心者だったので不安でなかなか動き出せませんでした。やっと一年前に現在の職場のアルバイトに応募し、勤務二カ月で正社員に採用されました。

PROFILE　仲里 裕貴さん



1984年那覇市出身。高校卒業後、日本体育大学へ進学。スポーツ店勤務や県庁臨時職員を経て、趣味のインテリアを仕事にしようと2008年4月、アルバイトとしてマックスプラス入社。現在、正社員として活躍中。

Q 一日の平均的なスケジュールは？

A 九時半に出勤し、清掃後に十時からミーティングです。その日の納品・発注スケジュール、前日の売上と当日の売上目標、人員の出欠などを確認します。商品の前出しやディスプレイチェックなどの「商品メンテナンス」を行い、十時半より開店。夜八時の閉店までお客様の対応や商品の説明、在庫の確認や補充に追われます。男性社員は大型家具の運搬もするので、結構重労働です！

Q 就職した後で、この仕事に対するイメージの変化は？

A 商品に愛情を感じ、女性の「かわいい」という感覚も実感できるようになりました。雑貨もさまざまな見せ方があり、良く見えなければ売れません。買う立場から売る立場になって周りの意見も参考にしつつ、買う側や雑誌のチェックをし、ディスプレイの参考にします。自分の意図がお客様に伝わって商品が売れたり、いい反応があったときは「よっしゃ！」とガッツポーズになりますね。

Q 今までに仕事を辞めたいと思ったことは？それをどのように乗り越えましたか？

A 経験のない仕事ではすべてが初めての連続なので、売上が落ち込み、どう改善したらいいかわからず悩みました。不安でいっぱいな中、「とにかく楽しもう！」「なんくるないさ」とプラス思考に気持ちをチェンジしました。目標とする先輩や同僚の支えも大きかったですね。

Q 職場の人間関係を円滑にする秘訣は？自分の経験から同じ道をめざす人へアドバイスを！

A 体育会系なのであいさつやチームワークを重視し、飲み会は全部出席です！笑いやコミュニケーションは大事なので気軽に話しかけます。閉店後もみんなで新しく入荷した商品を囲んで盛り上がります。共通の話題があると楽しいですね。最初はみんな初心者なので、何でも楽しむことを心がけて欲しいと思います。大事なのは「好き」という気持ちです！

上司からもヒトコト

チームをまとめる体育会系の良さは天性のもの。いつも前向きな職場の“ムードメーカー”です！

お客様の要望や時代の変化に柔軟に応えるフットワークの軽さ、明るさにアルバイトの頃から注目していましたが、社員になってさらに成長しました。この仕事は提案力が必須です。流行を敏感に捉え、住空間をどう素敵に演出するかが問われます。今後はリーダーシップを発揮し、問題意識を持って仕事に励んで欲しいですね。

ホームファニシングストア　マックスプラス古島店店長　中磯美佐枝さん

みんなでクッショブ運動　沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中！

（財）雇用開発推進機構とは？

財団法人雇用開発推進機構は、沖縄の勤労者と勤労者をとりまく社会経済環境について、総合的な調査研究を行い、その成果を活用し、本県の地域特性を活かした雇用対策を推進することを目的として、県、市町村、労働団体、経済団体が一体となって設立した公益法人です。

本県の雇用情勢の改善を図るため、今年度、県から受託して実施する主な事業は以下のとおりです。

問い合わせ先：
（財）雇用開発推進機構
那覇市小禄1831番地1沖縄産業支援センター7階
Tel 098-859-6140　Fax 098-859-6220
URL http://www.empact.or.jp

子育てママ就業支援プログラム事業

子育て中で求職中の女性等を対象として、パソコン基本操作やビジネスコミュニケーションなどの技術習得・企業体験といった研修を行い、コールセンター等への就職を支援する事業です。研修中、未就学児を預かりますので、安心して受講できます。

第1回目の講座は、平成21年6月1日から開始、年間で5回の開催予定です。

受講生は、講座開始の約1ヶ月前から募集します。

◆パソコン基礎講座（5日間）、就職講座（18日間）

沖縄県緊急ジョブトレーニング事業

雇止め等で失業した者などに対し、事業所での作業環境に適応させることを目的に、事業所において職場訓練（最大3か月間）を実施する事業です。協力事業所には訓練委託料（訓練生1人につき日額1,000円×最大21日）を、訓練生には訓練手当（日額6,000円×最大21日）を支給します。

現在、協力事業所と訓練生を募集しています。

核世代再チャレンジ雇用支援事業

県内在住の核世代（40～44歳）の求職者を採用したいと考えている企業に対し、常用雇用移行を前提として試行雇用（最大3か月間）を実施する場合に、奨励金（月額最大5万円）を支給する事業です。

活用を希望する企業を随時募集しています。

また、採用を予定している県内及び県外企業概ね30社と核世代を中心とした求職中の方を結びつけるための合同就職説明会を10月10日（土）に開催する予定です。